



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和4年1月11日

No. 22

文責：校長 酒井



学校だより 玉一っ子通信



新年のあいさつ (たくましい玉一っ子を目指して)

明けましておめでとうございます。

旧年中は、学校の教育活動を多くの場面で支えていただきまして、ありがとうございました。新しい年を無事迎えることができましたこと、改めて感謝申し上げますと共に、今年もお力添えをいただきながら、玉一っ子のために思い切った取組を行っていきたく考えています。

さて、2022の幕が上がりました。今朝からあいにくの雪もようですが、体育館に集合した子ども達の顔は、きりっと引き締まっていました。235名の玉一っ子の休み中の充実ぶりが予想されます。

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、本日の第3学期始業式では、全校児童に、目標を持つことについて話をしました。(内容は後日HPにてお知らせします。)そして、希望に溢れた2022年の初日を、全校生で迎えられたことを讃え合いました。

しかし、年末にかけてやっ和下火になってきた新型コロナウイルス感染症ですが、ここにきて少しずつ変異株の感染が広がりつつあり、予断を許さない状況となりました。「また同じことの繰り返しか…」とため息も出ますが、学校ではこれまで通り、**根気強く、基本的な予防(手洗い・マスク・換気)を徹底し**、児童の健康と安全の確保に努めます。

今年は寅年、6年生の一部と5年生の大半が年男・年女となります。「**虎を野に放つ**」ということわざにもあるように、学校は、子ども達が**持てる力を自由に発揮できる場所**であることが大切です。235名が**夢に向かって走り出す年**となるよう、未来につながる学力と体力の向上、そして心の教育に取り組みます。もちろん、これらの実現には、何よりご家庭の協力が不可欠です。昨年末に提起させていただいた、**ゲーム等への依存、就寝時刻の遅れなどの問題**については、今年も学校と家庭が協力して取り組む必要があります。学校では、朝からあくびを繰り返す子に学力や体力をつけることはなかなか難しいのが現実です。どうか今年も、毎朝明るく、元気な子ども達を送り出してほしいと思います。

規則正しい生活習慣が何より基本ですが、多様な生活様式や多くの誘惑もあり、なかなか身につかないのも実態です。子ども達はよく「**〇〇ちゃんだって…**」と口にすることがあります。訴えに根負けし、ついついゲームを与え、スマートフォンを持たせ、就寝時刻を遅らせ、車で送ってしまう。こういった経験はどの保護者の皆様にもあるのではないのでしょうか。しかし、ご存じのように、これらは、少なからず子ども達の成長の妨げとなっています。年の初めのこの機会に、改めてお子様と家庭でのルールの確認をお願いします。

本校の児童は、素直で明るく、大変優しい子ども達です。この**かわいい玉一っ子の**、学力・体力を向上させ、たくましさを育むことは、必ず、**5年後10年後の未来への切符**となります。そして、これらは学校に課せられた使命です。

本日からの3学期も、私たちは学校の役割を全力で全うしていきます。

保護者の皆様には、これまで通りのご理解とご協力をお願いします。また、家庭でのSOSや困り事は遠慮なくご相談ください。是非、学校を、職員を頼ってください。**学校、家庭、地域が同じ目線で子ども達の未来を見つめ**、手を携えてかかわれば、子ども達は、更にたくましく育つものと信じています。

教育目標「**自ら取組み 心豊かでたくましい子ども**」を目指し、教職員23名、一丸となって教育活動を進めて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願いします。